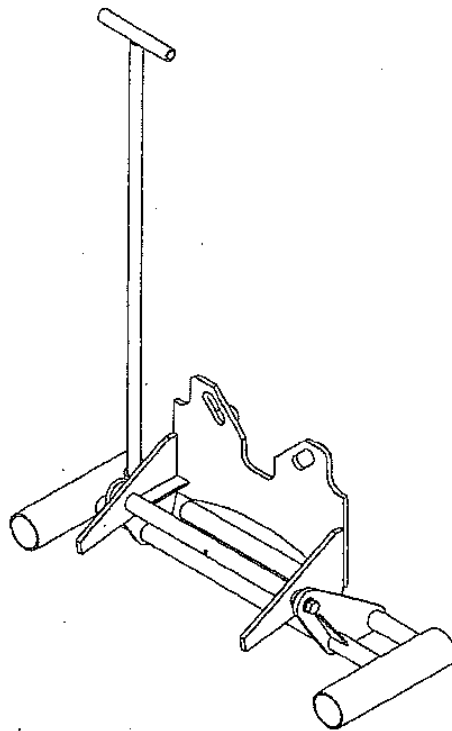


取扱説明書

ドラムアタッチメント

NWD-DA



 警告

本製品を使用する前に取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。
この取扱説明書はいつまでも使用できるように大切に保管してください。

 **長崎ジャツキ株式会社**

取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。

まえがき

このたびは、長崎のドラムアタッチメントをお買い上げ頂きまして誠に有難うございます。


ご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してから使用して下さい。取扱説明書の中の注意事項及び使用方法等をよく読んで使用頂かないと、十分能力を発揮できないばかりか車の落下や人身事故につながりますので、十分理解した上で、正しく使用して下さい。


お買い上げの製品や取扱説明書の内容について、ご質問がある場合は、お買い上げ頂きました販売会社まで問い合わせして下さい。

尚、取扱説明書及び警告ラベル等貼付ラベルは大切に使用して下さい。万一紛失・汚損された場合は速やかに購入の上、正しく保管又は貼付して下さい。

警告

この取扱説明書では「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は安全作業のために重要な事柄です。人身事故や財物損害防止の為の重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してから使用してください。

 **警告** ・ ・ 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重症を負う可能性が想定される場合。

 **注意** ・ ・ 取り扱いを誤った場合に、使用者が損傷を負う危険が想定される場合及び物的損傷のみ発生が想定される場合。

目次

1.使用目的	2
2.警告・注意事項	2
2-1 警告・注意事項	2
2-2 ラベルの貼付位置とラベルの名称	3
3.構造及び各部の名称	4
3-1 構造及び各部の名称	4
3-2 ロック機構	4
4.使用方法及び使用上の注意	5
4-1 始業点検	5
5.使用方法	6
5-1 指定のホイールドーリにドラムアタッチメントを装着する	6
5-2 ブレーキドラムにドラムアタッチメントを装着する	6
5-3 ブレーキドラムの取り外しと移動	7
5-4 ブレーキドラムの交換	7
5-5 ブレーキドラムの取り付け	8
6.故障と処置	8
7.給油	9
8.仕様	9
9.製品保証規定	10

1.使用目的

このドラムアタッチメントは、ホイールドーリに装着し、中型・大型トラックやバス等のブレーキドラムの脱着・点検・交換作業を容易に行う為の補助機器です。

2.警告・注意事項

このドラムアタッチメントをご使用いただく上で的人身事故や車の損傷を防止する為の重要な事柄が記載されていますので、必ずよく読み理解してから使用して下さい。

2-1 警告・注意事項

警告

取扱説明書をよく読み、理解してから使用すること。 重要な警告事項が説明されています。警告事項に従ってください。 ※重大な事故につながります。
--

操作は、操作方法を熟知した人以外は使用禁止。 ※誤った操作方法が原因で思わぬ事故が発生します。
--

昇降部及び可動部に手や足を入れない。 ※はさまれて重傷事故の可能性がります。

ドラムアタッチメントにハンドルを差したままの移動禁止。 ※ロックがかからず転倒し、思わぬ事故の危険性がります。
--

⚠ 注意

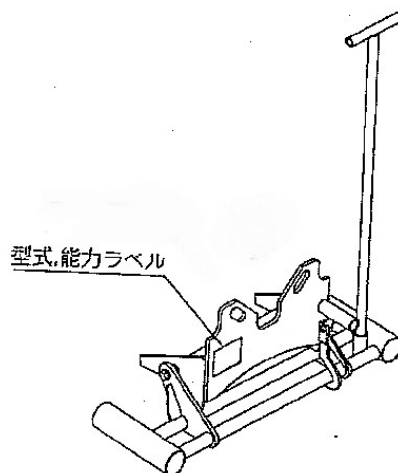
一般的な注意

- 1.使用目的以外の使用禁止。
- 3.自動車整備以外での使用禁止。
- 4.能力以上の使用禁止。
- 5.保管場所は、屋内に保管のこと。
- 6.洗車作業での使用禁止。
- 7.ドラムアタッチメントの改造は禁止。

使用上の注意

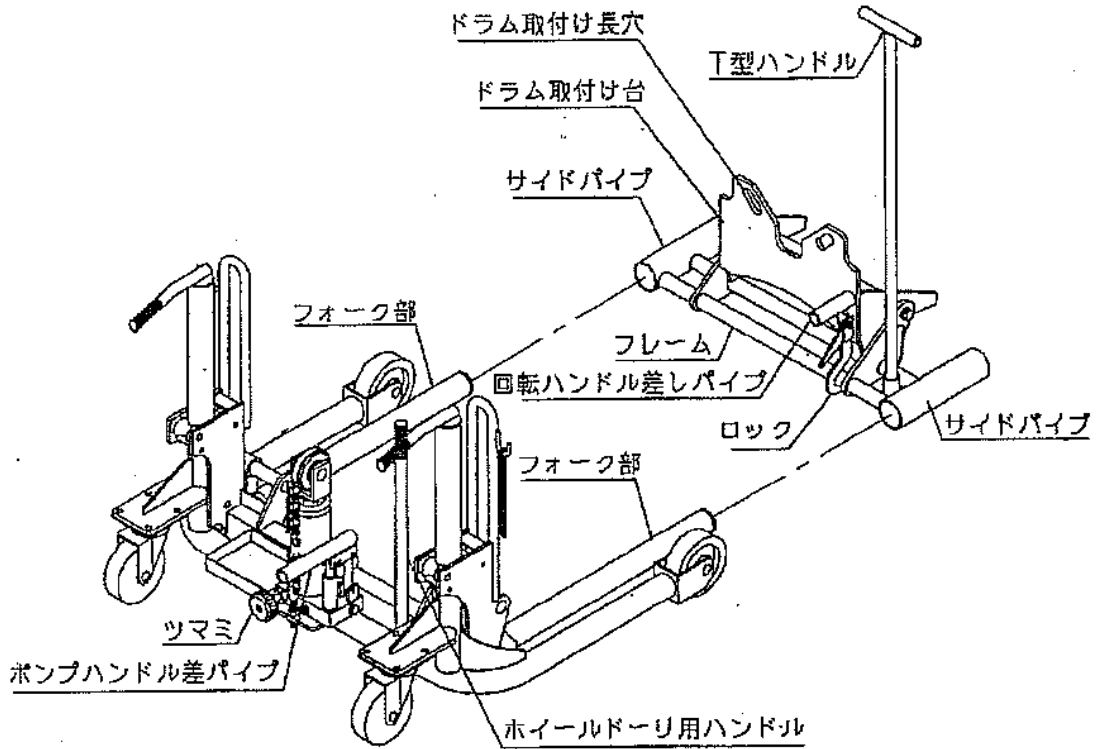
- 1.作業前に必ず始業点検を行うこと。
- 2.昇降作業中はブレーキドラムや車体の状態に注意しわき見作業は禁止。
- 3.昇降作業中は、他の人近付けたり、触れさせたりしないこと。
- 4.エンジンをかけたままの使用禁止。
- 5.ホイールローリの上昇はハンドルを差さず、手で操作してください。
- 6.必ず指定のホイールローリのフォーク部に奥までしっかり装着のこと。
- 7.ブレーキドラムの移動は最低位まで下げて移動のこと。
- 8.ドラムアタッチメントはブレーキドラムに確実にセットすること。
- 9.必ず中心荷重で使用し、偏荷重での使用禁止。
- 10.急激な下降操作はしないこと。
- 11.ドラムアタッチメントの回転は必ずT型ハンドルを使用し、ホイールローリのハンドルは使用しないこと。
- 12.ホイールローリで車体を上昇させないこと。

2-2 ラベル貼付位置とラベルの名称



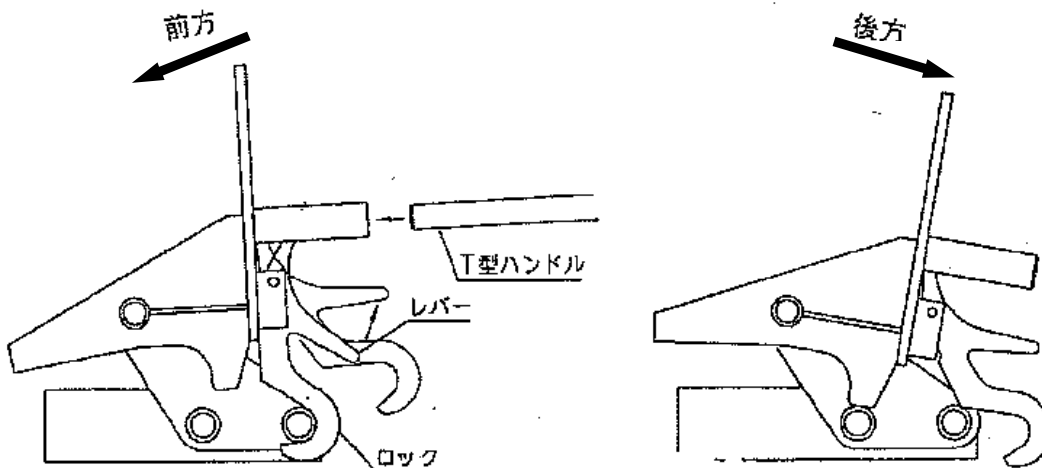
3.構造及び各部の名称

3-1 構造及び各部の名称



3-2 ロック機構

本アタッチメントは脱着作業や移動作業時にブレーキドラムが転倒するのを防ぐロック機構が装備されています。T型ハンドルを回転ハンドル差しパイプに奥まで差し込むか、レバーを押し上げるとロックは解除され前方に傾きます。



4.使用方法及び使用上の注意

警告

このドラムアタッチメントの操作は、使用方法を熟知した人以外使用しないこと。

4-1 始業点検

毎日作業前に必ず始業点検を行って下さい。なお点検はドラムに車を載せない状態で行って下さい。

注意

異常と思われる箇所が発見された場合は、異常個所の修復を完全に行うまでドラムアタッチメントの使用を禁止して、直ちに販売会社に連絡してください。そのままお使いになりますとドラムアタッチメントの破損及び重大な事故につながる危険があります。

※4 ページの各部の名称を参照してください。

点検箇所	内容	点検方法
・フレーム部	・固定ボルトに緩みはないか ・変形、破損、摩耗はないか ・汚れはないか	・目視 ・触感 ・増締め
・ロック部	・スムーズに可動するか ・変形、破損、磨耗はないか ・ロックは正常に動作するか	・目視 ・聴取
・各ネジ部	・変形、破損、緩みはないか	・目視 ・スパナ等にて 点検
・ハンドル部	・変形、破損、歪みはないか ・回転ハンドル差パイプの奥までT型 ハンドルがささるか	・目視 ・触感 ・聴取
・ドラムアタッチメント 全体部	・変形、破損等異常はないか	・目視

注意

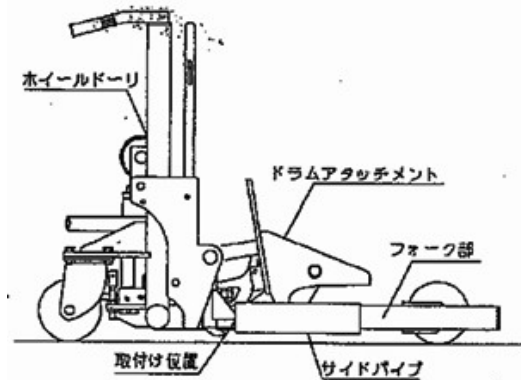
ホイールドーリの始業点検も付属の取扱説明書に従い必ず行って下さい。

5.使用方法

メーカー指定ホイールドーリ: NWD-500G 等(スタンダードタイプ)
NWD-501G 等(ワイドタイプ)

5-1 指定のホイールドーリにドラムアタッチメントを装着する

- ①ホイールドーリのフォーク部を最低位まで下げ、フォーク部のフォーク角度を床面と平行に調整してください。
- ②フォーク部の間隔が最大になるようフォークをスライドさせてください。
- ③ドラムアタッチメントのサイドパイプ部をフォーク部の奥まで挿入してください。

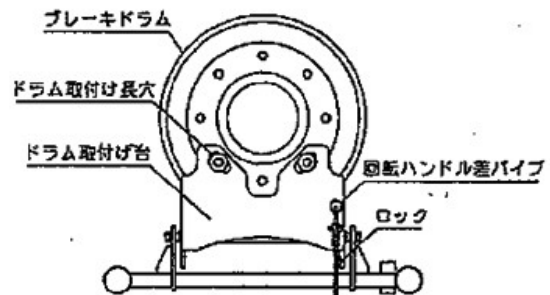


⚠ 警告

必ず指定のホイールドーリを使用し、フォーク部の奥まで挿入し装着してください。指定外のホイールドーリに装着したり、奥まで挿入されていないと、ドラムアタッチメントが外れたり、ホイールドーリが横転し、破損や重大な事故につながる危険があります。

5-2 ブレーキドラムにドラムアタッチメントを装着する

- ①ホイールドーリを上昇させ、ブレーキドラムのボルト部がドラムアタッチメントのドラム取付け長穴に取り付け可能な位置まで上昇させます。
- ②ブレーキドラムのボルト二箇所をドラム取付け長穴に挿入させ、ナットでしっかり固定します。

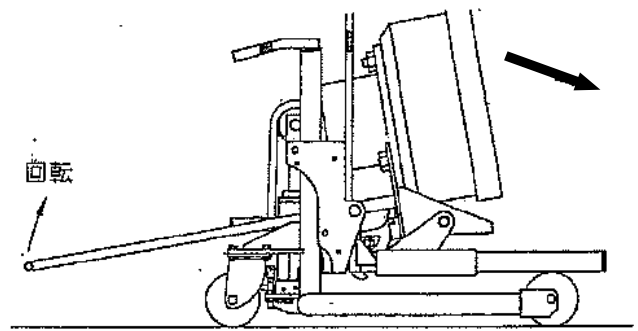


⚠ 注意

ナットはしっかり締め付けてください。締め付けが不十分だとドラムが前方に傾きます。又、ブレーキドラムが脱落し重大な事故につながるおそれがあります。

5-3 ブレーキドラムの取り外しと移動

- ①回転ハンドル差しパイプにT型ハンドルを奥まで差し、ブレーキドラムが少し浮く程度に回転と上昇(ホイールドーリ)させながらブレーキドラムを取り外してください。
- ②ブレーキドラムを取り外したら後方にブレーキドラムを倒し、T型ハンドルを回転ハンドル差しパイプから取り外し、静かに最低位まで下げて移動させてください。

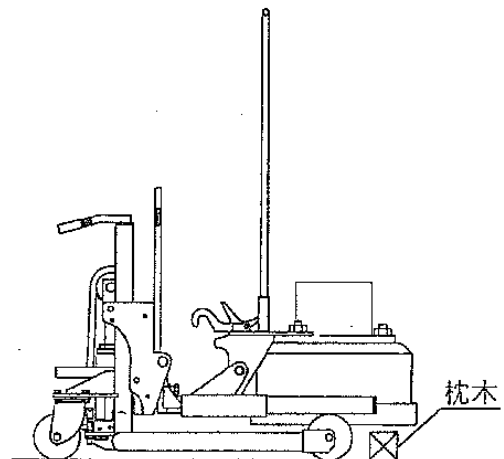


⚠ 警告

回転ハンドル差しパイプにT型ハンドルを差し、ロックが解除された状態ではハンドルが抜けないように注意操作してください。ロックがかからず、ブレーキドラムが倒れ、破損や重大な事故につながる危険があります。又、ホイールドーリの上昇操作は手でホイールドーリのポンプハンドル差しパイプを上下させ上昇させてください。ハンドルを使用しますと、ブレーキドラムのボルトや、ドラムアタッチメントの破損につながります。

5-4 ブレーキドラムの交換

- ①交換する場所に移動し、ホイールドーリのフォークを最低位から約 10 cm 上昇させてください。
- ②回転ハンドル差しパイプにT型ハンドルを奥まで差し込みゆっくり 90° 回転させ、ブレーキドラムを地上面に回転させてください。
- ③ホイールドーリを下げてブレーキドラムを下げてください。この時、ホイールドーリを下げて地面につかない場合、枕木等を下に敷いてブレーキドラムを降ろしてください。
- ④ブレーキドラムのナットを緩め、ブレーキドラムを取り外してください。



⚠ 警告

ドラムアタッチメントはフォークの奥まで挿入されていることを確認し、ハンドルはT型ハンドル以外使用しないでください。又、急激に回転させないでください。ブレーキドラムが転倒・脱落し、重大な事故につながる恐れがあります。

5-5 ブレーキドラムの取付け

- ①取り付けるブレーキドラムの前までホイールドーリを移動させます。
- ②ホイールドーリを約10cm上昇させ、ドラム取付け台を90°回転させブレーキドラムのボルト部(2箇所)をドラム取り付長穴に挿入し、ナットでしっかり固定してください。
- ③T型ハンドルを回転ハンドル差しパイプに奥まで差込み、ゆっくり90°回転させ、後方にブレーキドラムを倒し、T型ハンドルを回転ハンドル差しパイプから取り外してください。
- ④静かに最低位まで下げ、車両の取り付け位置まで移動してください。
- ⑤ホイールドーリのポンプハンドル差しパイプを操作し、ブレーキドラムを取り付け位置まで上昇させます。
- ⑥T型ハンドルを回転ハンドル差しパイプに奥まで挿入し、角度調整しながらブレーキドラムを取り付けます。

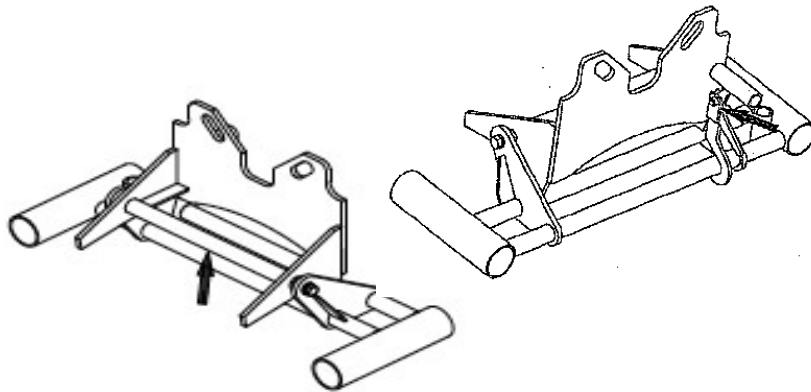
6.故障と処置

「故障かな」と思われる前にもう一度確認してください。以上が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不具合な場合はお買い上げの販売会社へ相談してください。

症状	原因	処置
ロックがかからない	①ハンドルがハンドル差しパイプに差し込まれている ②ロック部が変形、又は破損している	①ハンドルを回転ハンドル差しパイプから完全に抜き取る ②販売会社へ相談
ブレーキドラムがしっかり固定されない	①ブレーキドラムとドラムアタッチメントの位置が合っていない ②ドラムアタッチメントが変形、又は破損している	①ホイールドーリのフォークの高さを再度調整する ②販売会社へ相談
ドラムアタッチメントがホイールドーリに装着できない	①ホイールドーリのフォークの間隔が合っていない ②サイドパイプ部、フォーク部が変形、又は破損している	①フォークを正規の間隔にスライドさせる ②販売会社へ相談

7.給油

1カ月に1度以上給油してください。



8.仕様

型式	能力 (kg)	アクスル中心 ～床面まで の 最低位/ 最高位(mm) (ホイールド ーリ装着)	揚程 (mm)	適応 ブレーキ ドラム 最大径 (mm)	適応 ブレーキ ドラム クリップホルト数 (本)	適応 ブレーキ ドラム 最小車体 (t)	傾斜角 (°)	寸法 (mm)	自重 (kg)	対応機種
NWD-DA	150	420/725	305	500	6～10	4	後 6 前 90	W728 × D322 × H342※	20	スタンダード タイプ/ ワイドタイプ

※寸法にハンドル高さは含みません。

9.製品保証規定

1)保証規定

取扱説明書、本体注意書きに従って正常な使用状態で保証期間内(納入後一年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理させていただきます。但し、二次的に発生する損失の保証及び、次の場合に該当する故障は保証致しておりません。

- 1.使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- 2.製品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- 3.消耗品が損傷し取替えを要する場合。
- 4.火災・地震・風水害・その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- 5.指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
- 6.日本国外で使用される場合。
- 7.保証請求手続きが不備の場合(例:型式及び機体番号の連絡がない場合など)。尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然消耗する部品、ならびに消耗部品につきましては、保証の適用は除外させていただきます。

注意

このドラムアタッチメントは洗車仕様になっておりませんので、錆、腐食等の水による故障は保証いたしておりません。

(2)保証請求方法

上記の規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買い上げの販売会社までご一報下さい。販売会社において必要な手続きを実施いたします。尚、保証の要否は、大変勝手ながら弊社において判断させていただきますのでご承知下さい。

(3)アフターサービスについて

- 1.調子が悪い時.....まずこの取扱説明書の〔6.故障と処置〕の項目をもう一度ご覧になって調べて下さい。
- 2.それでも調子が悪い時は.....商品保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げの販売会社へ修理依頼をして下さい。
- 3.保証期間中の修理について.....保証期間は納入後 12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- 4.保証期間後の修理について.....有償で対応させていただきます。
- 5.アフターサービスについての詳細・その他ご不明な点は、お買い上げ頂いた販売会社へお問い合わせ下さい。
- 6.お問い合わせ頂く場合は、次の事柄をお知らせ下さい。
型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく

左記事項を下の表に必ず記載して下さい。

型式	
機体番号	
購入年月日	年 月 日
購入店名	社名： 担当者： 住所： 電 話：
故障日・状況	年 月 日
故障日・状況	年 月 日

— MEMO —

お問い合わせは

販売会社名

販売会社へのお願い、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

長崎ジャッキ株式会社

〒447-0854

愛知県碧南市須磨町 5 番地 2

TEL 0566-41-1482

FAX 0566-42-0709